

## 減災対策協議会の取組について

### (1) 令和7年度の主な取組の紹介

カテゴリ	ハード対策（河道掘削・急流河川対策・河道拡幅）
内容	洪水を安全に流すため、及び危機管理型のハード対策の推進
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

(姫川) 洪水を安全に流すハード対策の令和7年度末時点の整備状況:堤防侵食対策





カテゴリー	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内 容	重要水防箇所の合同巡視の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

新潟県と関係自治体、消防署、消防団とが合同で、出水時に注意が必要な重要水防箇所や樋門・樋管などの河川管理施設の確認を行うとともに、水防資材の備蓄状況の点検も実施しました。

【実施概要】

〈関川流域〉

- ・実施場所：①関川上流域（月岡防災ステーション、矢代川H25台風18号破堤箇所 等）  
②関川下流域・保倉川（下箱井水防倉庫、関川今池地先、保倉川有島地先 等）
- ・実施時期：①令和7年6月6日 参加者19名  
②令和7年6月10日 参加者29名

〈姫川流域〉

- ・実施場所：姫川流域（姫川上刈地先、水崎水防倉庫、大前水位観測所 等）
- ・実施時期：令和7年6月9日 参加者17名



関川 水防資材備蓄状況の点検、過年度被災箇所の確認

姫川 水防資材備蓄状況の点検、重要水防箇所の確認

カテゴリー	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内 容	水防連絡会（令和7年度関川・姫川水防連絡会総会）、情報伝達訓練の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

関川・姫川における水害の防止又は軽減のために、関川・姫川水防連絡会総会を開催し、水防に関する連絡及び調整を図りました。

【実施概要】

- ・開催日時：令和7年4月22日(火)
- ・会 場：web会議開催
- ・構成機関：関川・姫川水防連絡会

洪水時の迅速な情報共有を図るため、各関係機関とともに情報伝達訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・開催日時：令和7年5月9日(金)
- ・会 場：高田河川国道事務所 災害対策室 ほか
- ・構成機関：関川・姫川水防連絡会



関川・姫川水防連絡会 総会状況 (Web開催)



情報伝達訓練の状況

カテゴリー	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項
内容	令和7年度姫川・関川総合水防演習の実施
実施主体	糸魚川市、新潟県、国土交通省北陸地方整備局、関川・姫川水防連絡会

令和7年5月31日、姫川右岸1.6k糸魚川市寺島地先において、水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、幅広い主体の参加による地域社会全体の防災知識の普及および防災意識の向上、実践的なシナリオによる災害対処能力の更なる向上を図ることを目的とし、総合水防演習を実施しました。

■実施した演習：水防工法訓練、情報伝達訓練、救援物資輸送訓練、ライフライン復旧訓練、救難救助訓練他

■参加機関：34団体、協賛：4団体、後援：21団体、協力：6団体、参加者約1500人



●積み土のう工  
(糸魚川市消防団)



●月の輪工  
(上越市消防団)



●木流し工  
(妙高市消防団)



●情報伝達訓練  
(ホットライン連絡)



●ロープブリッジ 救助訓練  
(糸魚川市消防本部)



●ヘリコプター吊り上げ救助  
(新潟県消防防災航空隊)



●野外炊飯・炊き出し  
(陸上自衛隊第2普通科連隊)



●閉会式

カテゴリー	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	有識者を招いた水災害教育の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所、国立大学法人上越教育大学

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校4年生を対象に、出前講座「川の防災学習」を実施しました。

#### 【実施概要】

- ・ 対 象：上越市立春日新田小学校4年生（2クラス 計61名）
- ・ 内 容：第1回（R7.10.03）：災害・防災に関する基礎学習
  - ・ 災害の種類、過去の水害、洪水が起こる理由などについて授業しました。
  - ・ 能登半島地震に伴い関川に遡上した津波の映像や浸水被害状況についても説明しました。
- 第2回（R7.10.15）：散策しながら水害時の危険箇所を学ぶ現地学習
  - ・ 洪水時に危ない場所や避難場所の確認や、水害体験者からの聞き取りを行いました。
- 第3回（R7.10.30）：学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習
  - ・ 校区内にある洪水時に危ない場所や避難場所を子供たちに調べてもらいました。



第1回 基礎学習の様子



第2回 現地学習の様子



第3回 自己学習の様子

カテゴリー	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内容	水防災等に関する出前講座の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

高田河川国道事務所では、出前講座を活用し、関川流域の小学校2校で74名に水防災等に関する説明を行いました。洪水ハザードマップの見方、避難に当たっての留意点、マイ・タイムラインの考え方について学びました。

【実施概要】

- 〈関川流域〉 ①R7.10.28 (火) 上越市立直江津小学校4年生 26名  
②R7.11.25 (火) 上越市立稲田小学校4年生 48名



上越市立直江津小学校での出前講座の様子



上越市立稲田小学校での出前講座の様子

カテゴリー	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内容	小学生を対象とした出前授業の実施
実施主体	上越市危機管理課・上越市立稲田小学校

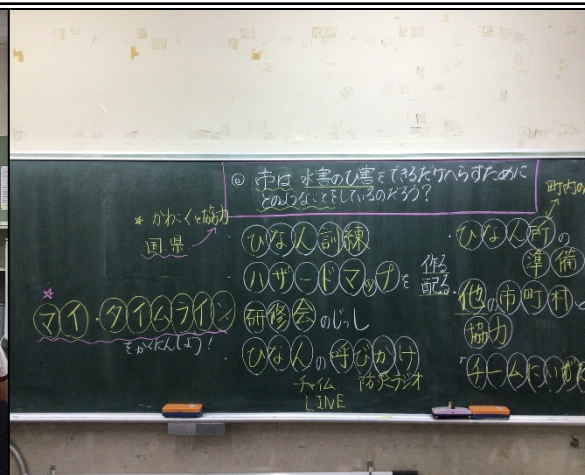
当市危機管理課職員を派遣し、総合学習の一環で災害や防災について学んでいる上越市立稲田小学校4年生を対象に、出前講座「水害の被害をできるだけ減らすために」を実施。

【実施概要】

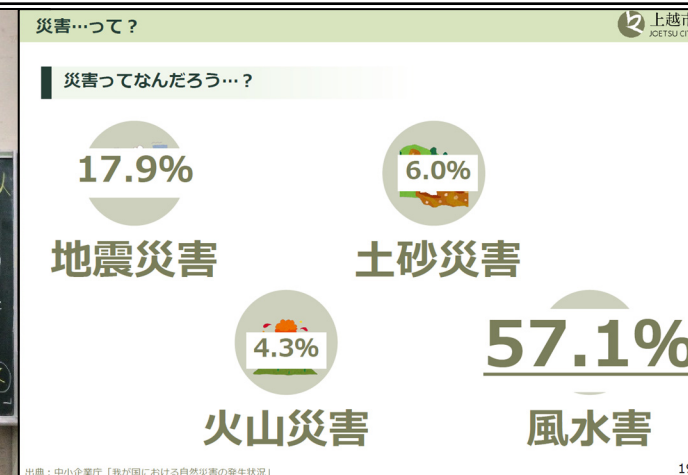
- ・日時：令和7年11月18日
- ・参加者：稲田小学校4年生 児童48名（2クラス）、教諭2名
- ・内容：(1)災害とは  
風水害を中心に各種災害について解説し、災害に対する理解の向上を図った。  
(2)公務員の仕事  
職種の説明のほか、風水害時の対応及び防災に係る取組みについて解説した。  
(3)皆さんにお願いしたいこと  
ハザードマップの確認、災害備蓄品の準備、地域防災訓練への参加を呼び掛けた。



授業の様子①（提供：稲田小学校 様）



授業の様子②（提供：稲田小学校 様）



上越市作成資料から抜粋

カテゴリー	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
内 容	出前講座による防災教育
実施主体	糸魚川市

年間をとおして、各地区や市内小中学校、高等学校へ出向き、過去の災害を振り返るとともに、ハザードマップ、資機材等を活用した出前講座、防災教育を実施した。

【実施概要】

- ・回数：30回（R8.2末現在）
- ・参加者：延べ1,419人
- ・内容：ハザードマップの基礎知識  
災害と避難行動を学ぶ  
避難所設営体験  
地震、津波に備える など

7.11水害

<概要>  
梅雨前線が北陸地方に停滞し、星過ぎから夜半前にかけて上越地方を中心に激しい雨となった。

過去の災害

を記録し、総  
崩れ、地滑  
びJR大糸線  
らした。

7.11水害

7.11水害

7.11水害

糸魚川白嶺高等学校 様

出前講座

糸魚川市の過去の災害



R7.11.6 防災講座、段ボールベッド組立  
糸魚川中学校2年生+保護者（220人）



R7.12.5 糸魚川市の過去の災害を学ぶ  
糸魚川白嶺高校1年生（100人）



R7.12.16 ハザードマップ、非常持出袋  
青海小学校5,6年生（40人）

カテゴリ	実践的な研修・訓練の実施
内容	町内会の防災（水害）学習会の開催
実施主体	妙高市

7.11水害から30年を機に、被災経験の風化を防ぐため、美守自主防災会と合同で学習会を開催しました。浸水想定区域や避難情報の再確認に加え、組織体制の見直しも行い、地域住民の防災意識向上へと繋げることができました。

#### 【実施概要】

- ・日時：令和7年7月11日
- ・参加者：地域住民41人
- ・会場：美守町内会館
- ・内容：＜市より＞地区で想定される災害、避難情報や避難のタイミング 等  
＜美守自主防災会より＞体制や備品の確認、意見交換



学習会の様子

カテゴリー	円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項の実施
内容	河川内の伐木および河道掘削
実施主体	新潟県 上越地域振興局 地域整備部

流下能力を確保し、洪水を安全に流下させるため、河川内の伐木と河道掘削を実施しています。

【R7実施河川】

- ・河床掘削、伐木 正善寺川ほか8河川で実施。引き続き実施予定。



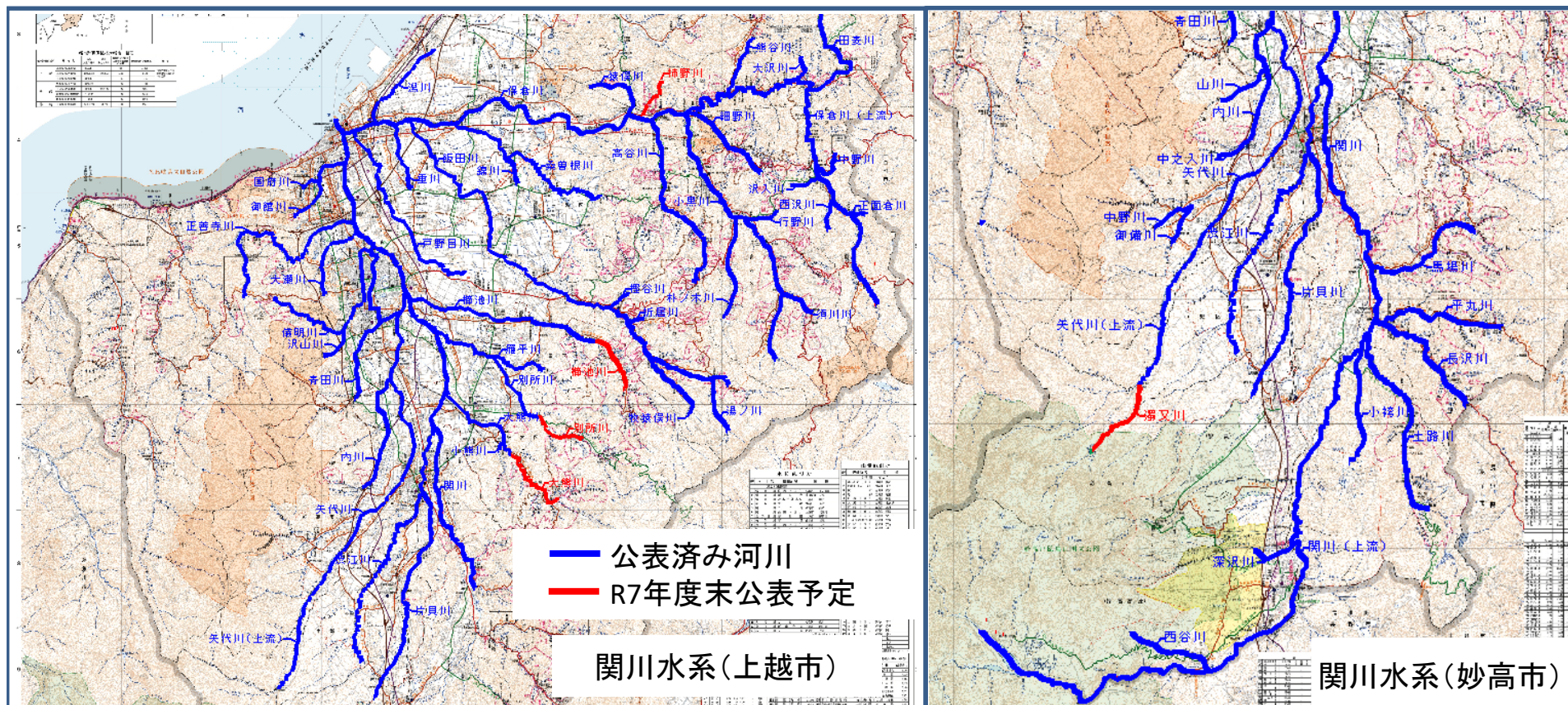
一級河川 正善寺川 (河床掘削)



一級河川 片貝川 (伐木)

カテゴリ	情報伝達、避難計画等に関する取組の実施
内容	想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
実施主体	上越地域振興局地域整備部

● R3水防法改正⇒ 洪水浸水想定区域の指定対象を「周辺に住宅等の防護対象がある河川」まで拡大し、水害リスク情報空白域を解消



関川水系においても、簡易解析手法を活用し  
新たに5河川で洪水浸水想定区域図を作成 ⇒ R7年度末公表予定

カテゴリ	情報伝達、避難計画等に関する取組の実施
内容	マイ・タイムライン作成の普及促進・支援
実施主体	新潟県上越地域振興局 地域整備部

上越地域振興局地域整備部では、学校教育を通じて家庭や地域にマイ・タイムラインを普及し主体的な避難行動により人命を守るため、小・中・高校生を対象としたマイ・タイムライン作成支援『新潟県マイ・タイムライン教室』の取組を実施しています。

【令和7年度の実施状況】

- 令和7年 9月26日(金) 13:30~15:20 (3,4限) 上越市立牧中学校 全校生徒 21名
- 令和7年 12月12日(金) 10:30~12:05 (3,4限) 上越市立稲田小学校 4年生 48名
- 令和7年 12月16日(火) 13:35~15:25 (5,6限) 上越市立東頸中学校 全校生徒 98名

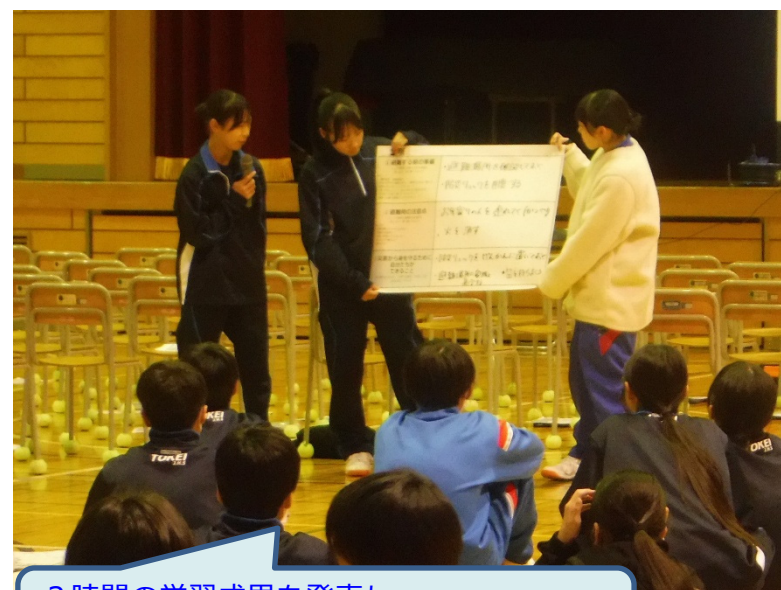
マイタイムライン教室の様子  
(東頸中学校)



ハザードマップの見方や警戒レベルの意味などについて学習



グループワークで避難前の準備、避難時の注意点、災害から身を守るために自分たちができることについて意見交換



2時間の学習成果を発表し、各自が「マイ・タイムライン」を仕上げた

カテゴリー	円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組の実施
内 容	洪水を河川内で安全に流す対策の実施
実施主体	新潟県上越地域振興局地域整備部 上越東維持管理事務所

一級河川保倉川において、未改修区間の河川整備や土砂堆積区間の河床掘削、河川内樹木の伐採を実施しました。

【実施概要】

- ・河川整備（浦川原区有島地内）：R7 整備延長 L = 40.6m（右岸）
- ・河床掘削（浦川原区飯室地内）：R7 掘削土量 V = 2,500m<sup>3</sup>（ICT施工）
- ・伐 木（管内6地区）：R7 伐木量 W = 25t



河川整備（浦川原区有島）



河床掘削（浦川原区飯室）



伐木（浦川原区长走）

カテゴリー	河道維持
内容	洪水を安全に流すための対策の推進
実施主体	新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部

流下能力を確保し、洪水を安全に流すため、河川内の掘削と伐木を実施しました。

【実施河川】

- 河床掘削工事 一級河川姫川水系 下大野川 (糸魚川市大野)
- 伐木 委託 一級河川姫川水系 根知川 (糸魚川市根小屋)、姫川 (糸魚川市小滝)



下大野川

竣工  
(2025年6月撮影)



着手前  
(2025年5月撮影)



根知川

竣工  
(2025年5月撮影)



着手前  
(2025年5月撮影)

カテゴリ	情報伝達、避難計画等に関する取組の実施
内容	マイ・タイムライン作成の普及促進・支援
実施主体	新潟県糸魚川地域振興局 地域整備部

糸魚川地域振興局地域整備部では、学校教育を通じて家庭や地域にマイ・タイムラインを普及し、主体的な避難行動により人命を守るため、小・中学生を対象としたマイ・タイムライン作成支援『新潟県マイ・タイムライン教室』の取組を実施しています。

【令和7年度実施概要】

- ・開催校なし
- ・令和8年度実施に向けて、糸魚川市内の小・中学校へ開催希望調査を実施  
⇒ 大和川小学校、青海中学校で開催希望あり

令和6年度開催の様子（糸魚川小学校）



カテゴリー	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	出前講座を実施
実施主体	新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部

糸魚川地域振興局地域整備部では、家庭や地域の防災意識の向上を図るため、学校教育を通じて、これまでの災害の歴史や災害への備え、災害時に命を守る行動を解説する「出前講座」を、市立西海小学校において実施しました。

【令和7年度実施概要】

- ・日 時：令和7年10月21日
- ・対 象：糸魚川市立西海小学校 3, 4年生 12名
- ・内 容：座学「能登半島地震から学ぼう!」、液状化などの実験  
現場見学



(様式2-取組概要)

様式作成機関：新潟県糸魚川地域振興局地域整備部

カテゴリー	防災ステーション等の検討・整備
内容	備蓄ブロックヤードの整備
実施主体	新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部

水防活動や災害時に必要となるコンクリートブロックを備蓄した。  
(糸魚川市梶屋敷地内)



**梶屋敷 備蓄ブロックヤード**  
(約 7,300m<sup>2</sup>)

(2025年12月撮影)



**R8.2.25現在**  
**2t型 六脚ブロック 889個**